

# 音楽科における言語活動の充実 ～共通事項の指導を通して～

音楽科 興梠 徹

## 1. 主題設定の理由

学校教育において言語活動を充実させる事については、中央教育審議会答申（平成20年1月17日）に、「各教科等における言語活動の充実は、今回の学習指導要領の改訂において各教科等を貫く重要な改善の視点である。」と記されている。そして、音楽科における言語活動については、コミュニケーションや感性・情緒の基盤という言語の役割の中で、「体験から感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体などを使って表現する（音楽、図画工作、美術、体育等）」や「合唱や合奏、球技やダンスなどの集団的活動や身体表現などを通じて他者と伝え合ったり、共感したりする（音楽、体育等）」と具体的な活動との関係で記されている。このことから、音楽科で求められる言語活動は、音楽と関わるという体験から感じ取ったことを歌唱表現などで伝え合う際に思考・判断したことを相手に伝えたり、合唱や合奏活動をする際に、集団による音楽表現を円滑に行なうために自分の考えを伝え合ったりする場面で用いることが求められていると考える。前者の言語活動は、音や音楽から知覚・感受したことに基づいて表現する際、思考・判断する過程において言語を活用するという活動になり、主に〔共通事項〕のア「音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること」に当たる学習になると考える。後者の言語活動は、他者と音楽によるコミュニケーションを行う、すなわち音楽の質の共有をめざす際、客観性を伴って効率よくコミュニケーションができるように音楽用語を含んだ言語を活用するという活動になり、主に〔共通事項〕のイ「音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す記号などについて、音楽活動を通して理解すること」に当たる学習になると考える。このように音楽の学習の中で言語活動を充実させることは、今までの音楽の授業が教師主導の知識や技能の習得に偏った傾向があったのに対し、生徒自らが学習することの意味を理解し、音や音楽と向き合い、何を知覚・感受し表現するかを明確にし、他者との関わりの中で思考・判断しながら主体的に学ぶ授業への改善につながると考える。今年度の本校の研究テーマである「自立し協同する力を育む教育 -コミュニケーション力を基盤として-」を受けて、音楽科では、〔共通事項〕に基づいた学習活動の中で言語活動を充実させる工夫をすることにより、生徒同士の音楽によるコミュニケーションの活性化を図りたいと考えている。

## 2. 実践の概要

音楽科における表現力には「思考力・判断力・表現力」として用いられる表現力、すなわち知覚・感受した内容を、言葉を用いて顕在化する表現力と、知覚・感受に基づき、思いや意図をもって技能を伴い表現する「音楽表現の能力」の二つがある。本単元では、後者の音楽表現の能力を育む過程で、「サウンドロゴ」の創作を通して、音楽を形づくっている音色や旋律から知覚・感受したことについて、言語活動を通して意識化を図ることで、イメージしたものと音楽の要素を関わらせながら、「サウンドロゴ」を創作し表現する楽しさを味わわせたい。そのためには、生徒には出来るだけ多くのサンプルを聴かせ、知覚感受したことを言語化し共有することにより、実際に創作する際に、無理なくイメージを具現化できる環境を作りたい。

(1) 具体的な指導事例

・単元の目標

【観点1】「サウンドロゴ」の、音色と旋律の使い方に関心を持ち、具体的なイメージに基づいて「サウンドロゴ」を創作する。

【観点2】音楽を形づくっている要素（主に音色、旋律）を知覚・感受し、イメージとの関係を理解して、それに基づいて創意工夫しながら創作できるようにする。

【観点3】表現したいイメージが他者に伝わるような「サウンドロゴ」を作ることができる。

・評価規準表

観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽表現の創意工夫	観点3 音楽表現の技能
コンセプトの具体的なイメージに基づいて、音色と旋律の使い方に関心を持ち意欲的にサウンドロゴを作っているか。	音楽を形づくっている要素（主に音色、旋律）を知覚・感受し、イメージとの関係を理解して、それに基づいて創意工夫しながら創作しているか。	表現したいイメージが他者に伝わるような「サウンドロゴ」を作れているか。

・指導計画 【全4時】

<第1次>(1)「サウンドロゴ」を聴き、知覚・感受しながら、「サウンドロゴ」の機能を理解する。

「サウンドロゴ」を創作するために、基となるコンセプトを決め、その具体的なイメージをグループで交流しながら、「サウンドロゴ」の歌詞にあたる会社名を考える。

<第2次>(1)イメージをもって「サウンドロゴ」を創作するために、音色や旋律の働きを知覚・感受しながらイメージとの関連を理解する。

(2)コンセプトやイメージを基に、音色や旋律の使い方を工夫して、グループで「サウンドロゴ」を創作する。【本時】

<第3次>(1)各グループで創作した「サウンドロゴ」を発表し、聴き合う中で、工夫した点や演奏について評価し合う。

・言語活動のマトリクス

コミュニケーション 単元	言語的コミュニケーション	非言語的コミュニケーション
	音や音楽によるコミュニケーションを図るための思考・判断	音や音楽によるコミュニケーション
音色にこだわってイメージをサウンドロゴにしよう	・サウンドロゴを創作する中で、言葉を用いて自分がイメージしたことを説明したり、他者とイメージを共有しあったりする活動。	・創作したサウンドロゴを音で伝えあって他者とイメージを共有しあう活動。

・【本時/第2次の2時間目】の具体的な指導計画

学習過程	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">学習内容確認</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     創意工夫                      知覚・感受                      思考・判断                 </div> <div style="text-align: center;">                     NO                 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     評価                 </div> <div style="text-align: center;">                     YES                 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">発表</div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">まとめ</div>	<p>○前時までの既習事項を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色や旋律に注目しながら「サウンドロゴ」を聴き比べる。</li> </ul> <p>○本時の学習事項の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サウンドロゴ」で相手に何を感じさせたいか。</li> <li>・「サウンドロゴ」の音をどのように使うか。</li> <li>・それによって思い通りの「サウンドロゴ」になっているか。を確認しながら創作する。</li> </ul> <p>○コンセプトやイメージを基に「サウンドロゴ」を作る過程で、どのような音色や音楽を構成する上での工夫が必要か、グループで意見を出し合いながら、「サウンドロゴ」を創作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽室にある楽器を使いながら考える。</li> </ul> <p>○中間発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなイメージを持って工夫したかも発表する。</li> </ul>	<p>●同じコンセプトやイメージであっても、表現方法が異なるサウンドロゴを比較聴取させ、音色や旋律の使い方の違いに気づかせ、表現の工夫に繋げさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に学習した「サウンドロゴ」の雰囲気とその仕組みについて立ち返り、それぞれの特徴を想起させる。</li> </ul> <p>●本時のねらいをはっきりさせるため、何を学習させたかを提示する。</p> <p>●コンセプトやイメージを共有し、音色や旋律の要素の働きを知覚・感受させながら、サウンドロゴを創作させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいをもって「サウンドロゴ」を創作できているか机間観察をする。</li> <li>・とまどっているグループがいれば、本時のねらいを振り返らせる。</li> <li>・必ず生徒一人が何らかのパートを受け持つように促す。</li> </ul> <p>●コンセプトやイメージをどのようにサウンドロゴで表そうとしているのか、創意工夫した点について発表させる。</p>	<p>観点1</p> <p>【観察】</p> <p>音色と旋律の使われ方に関心をもっているか</p> <p>観点2</p> <p>【観察・ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージをもって「サウンドロゴ」を創作するために、音色や旋律の働きを知覚・感受しながらイメージとの関連を理解できている。</li> </ul> <p>観点1</p> <p>【観察】</p> <p>意欲的にサウンドロゴを作っているか。</p> <p>観点2</p> <p>【観察・ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素（主に音色、旋律）を知覚・感受し、イメージとの関係を理解して、それに基づいて創意工夫しながら創作しているか。</li> </ul> <p>観点3</p> <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージが他者に伝わるような「サウンドロゴ」を作れているか。</li> </ul>

3. 参考資料

(1) 生徒のワークシート

音楽プリント

音色にこだわりながら「サウンドロゴ」を作ろう①

3年

「サウンドロゴ」を音楽の要素(音色や旋律などに)注目して、聴き比べてみましょう。

トアイフルホーム	トパナホーム	トタマホーム
※全8小節の中で和音が変わる。		
①「サウンドロゴ」から感じた雰囲気(○)をつけ、その他に自分の言葉で書きましょう。また、そのように感じた音色や旋律の仕組みについても書きましょう。		
(○) 落ち着いた感じ 仕組み 聞こえていなくて、音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。 ( ) 軽やかな感じ 仕組み	(○) 落ち着いた感じ 仕組み 音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。 (○) 軽やかな感じ 仕組み ヲの音が細かく聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。 ( ) 激しい感じ 仕組み	(○) 落ち着いた感じ 仕組み ( ) 軽やかな感じ 仕組み (○) 激しい感じ 仕組み 音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。 (○) 激しい感じ 仕組み 音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。
その他 [ シックな ] 感じ 仕組み 音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。	その他 [ 明るい ] 感じ 仕組み 音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。	その他 [ 全かな ] 感じ 仕組み 音が少しづつ聞こえてくる感じが好き。音は、ゆっくり。
②企業のねらい: ターゲットと、会社や商品のイメージ		
① 価格の安い サブス(家族)	② 環境に優しい	③ 真正価格で買いたい。
③「サウンドロゴ」の作られ方について「なるほど!」と思ったことを書きましょう。		
会社の名前と響きと音が似ているのにも覚えやすいため、印象に残りやすいものにしようと思う。特に、会社のポリシーやイメージ、商品がロゴと音楽とわかるようにするべきだと思う。		

音楽プリント

音色にこだわりながら「サウンドロゴ」を作ろう②

3年

[ 6 期 ]

①どのテーマにしましたか? ○をつけてみましょう

ア. 「待たずに乗って快適な乗り心地!」近未来型の路面電車  
 イ. 「伝統を守り続ける味へのこだわり!」老舗の和菓子店  
 ウ. 「多忙な現代人へ健康をサポート!」を掲げる自然食品を取り扱う大手食品メーカー  
 エ. 「エコカーの頂点!」どこよりも環境への貢献を掲げる自動車メーカー  
 ○ その他(動物園)

②上記から選びテーマにそって会社名を書きましょう。

世にも奇妙な動物園

③会社のポリシーや商品が提供する具体的なサービスから、どの様なイメージを伝える「サウンドロゴ」にしたいですか。具体的に書いてみましょう。

会社のポリシー	商品が提供する具体的なサービス
スピードが速い 見にくい 奇妙な動物を飼育	見にくい 見にくい 見にくい 見にくい

サウンドロゴで伝えたいイメージ  
 楽しい、excite 等々

④自分たちのグループが伝えたいイメージを「サウンドロゴ」で表わす時、どのような音色の用い方や音楽を構成する上で工夫が必要であると思いますか。思いついたアイデアを書きましょう。

※「歌舞伎調にする」、「和太鼓の音を入れる。」のように、既存の「サウンドロゴ」から思いつくアイデア  
 奇抜な感じを出す → 「鉄琴」 「太鼓」  
 ちと涼感 → 和太鼓  
 動物園の感じを出す → 動物園の感じを出す

⑤思いついたアイデアを実際に音にして、イメージが伝わる感じになるか試してみましょう

音色の用い方や音楽を構成する上で工夫	実際に音にしてみたときの感じ方(イメージとの関係)
・ 和太鼓の響きの強弱	・ ちと涼感
・ 全体音量のバランス	・ 動物園の感じ
・ 奇抜な感じ → 和太鼓の音を出さず	
・ 和太鼓の音 →	

(2) グループで設立した会社のロゴ



4. 成果と課題

この単位では、[共通事項]に基づいた学習活動の中で言語活動を充実させる工夫をすることにより、生徒同士の音楽によるコミュニケーションの活性化を図ることが出来たと考える。創作する中で、生徒はこれまでの生活体験で培ってきた経験に基づきながら、さまざまな楽器を使い、イメージに合った音色や旋律を探していた。今回の「サウンドロゴ」を創作する活動は、楽譜などが読めない生徒に対しても、五線譜を用いない、創作する音楽が秒単位であるという部分から、音楽をする楽しさを納得できる活動であったのではないかなと思う。またグループで発表する際は、他のグループがどのような発表をするのかを、音や音楽に注目しながら熱心に聴く様子もうかがえた。今後の課題としては、グループでの発表の際に、教師の具体的な発問により、生徒が音楽の要素に立ち返る場面をいかに多く作れるかである。生徒の発言を音や音楽に返して全体で共有していく活動は、生徒一人ひとりの思考・判断を深める手立てにもなる。今後、さらに学習の充実を目指して、指導の工夫・改善に努めたいと考えている。